

The HEROES 刀剣 X 浮世絵 —武者たちの物語—

森アーツセンターギャラリー(六本木ヒルズ森タワー) 2022.01.21~03.25
新潟県立万代島美術館 22.04.23~06.19 静岡市立美術館 22.07.02~08.28
兵庫県立美術館 22.09.10~11.20



本展は、世界最高水準の日本美術コレクションを誇る「米国・ボストン美術館」所蔵品の「武者絵と秘蔵の刀剣」が日本に里帰りする企画である。

この「武者絵」とは、『平家物語』のような軍記物語や、武勇伝記に登場する英雄（ヒーロー）を描いた絵のこと

で、江戸時代には武者たちを描いた「浮世絵」が人々の人気を博したという。

作品は「菱川師宣」「北尾政美」「歌川国芳」「歌川広重」「月岡芳年」等有名絵師のクールで迫力ある「武者絵 118 点」を物語の時代に沿って紹介されている。

つまり「武者絵」と「刀剣の鍔（つば）」に描かれた共通のイメージを解き明かしながら、様々なヒーローたちの活躍を觀賞することが出来る展覧会である。

「ボストン美術館」の刀剣が、日本でまとまって紹介されるのは約半世紀ぶりとなり、浮世絵版画のコレクションで広く名前が知られた「ピグロー・コレクション」や、近年新たに加わった刀剣の世界的コレクターとして知られる「ウォルター・コンプトン」の寄贈品などから、日本最古の名工といわれる安鋼の名の太刀や、中世日本に多くの名匠を輩出した長船派の名刀などが出品されている。



歌川国貞 《武蔵坊弁慶 御曾子牛若丸》 1813~14年頃

薄衣をかぶった牛若丸が京の五条の橋にかかると、荒法師弁慶が戦いを挑むが、身柄な牛若丸に翻弄されて屈服して牛若丸と主従の盟を結ぶ。

歌川国芳 《川中島信玄謙信旗本大合戦之図》 1845年頃

謙信は白絹で頭を包み月毛の馬に乗り、太刀を抜き持って信玄の旗本に一文字に走り寄ったが、信玄は太刀を抜く隙もなく、床几に坐したまま軍配団扇で謙信の太刀を受け止めた。

